

造園植物資源学特論演習（2単位）

担当者氏名 高橋新平・濱野周泰・鈴木貢次郎・水庭千鶴子

◆学習・教育目標

都市緑化や造園植栽、植生の再生復元・保全・利活用、森づくり、さらには植栽や植生の管理・診断に資する高度な基礎的知見を極力、内外で展開している実際の手法や事業を題材にした演習を行う。併せて関連する研究の現状や課題についても紹介し、今後の研究のあり様についても論議する。したがって造園植物の分類特性、栽培生理、各種環境への適応戦略から応用植物生態学的知見まで、広範な内容を対象とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

植物資源

植生再生

栽培生理

環境適応

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	概説	本演習の内容解説	本講義は、造園学専攻の植物分野の院生が最低限具備すべき知識情報を演習によって身につける。
2	植物・植生の環境効果	機能植栽	
3	都市緑化的知識が必要な場面と関連情報	建築空間域 特殊環境他、緑化用植物の環境圧耐性	
4	樹木学的知識が必要な場面と関連情報	樹木の形態特性、街路樹の育成管理、森づくり	
5	植物学的知識が必要な場面と関連情報	造園植物の分類、栽培管理、繁殖	
6	芝生・地被学的知識が必要な場面と関連情報	スポーツターフの造成・管理、芝草、グラウンドカバープランツの生理・生態学特性	
7	花・園芸学的知識が必要な場面と関連情報	緑化用草花の特性、栽培環境、植栽基盤整備	
8	応用植物生態学的知識が必要な場面と関連情報	植生の再生復元・保全・管理、生物多様性	
9	総括	本講義の総括	
10			
11			
12			
13			
14			
15			

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

/ / ()

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

/ / ()

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

毎回の講義の理解度を加味し、課題による評価を行う。

◆その他受講上の注意事項